

令和5年度

事業報告書

第 52 期

自 令和 5年 4月 1日

至 令和 6年 3月31日

社会福祉法人 わかば福祉会

富山県富山市下堀8番地

目 次

社会福祉法人わかば福祉会概要	2
----------------	---

各事業所別事業報告

法人総括	4
わかば保育園	8
はりはら保育園	12
しんでん保育園	16
石金こども園	20
下堀こども園	24
わかばにこにこ園	28
きぼう保育園	30
わかばさくらんぼ園	33
わかば学童クラブ堀川園	35
わかば学童クラブはりはら園	36
わかば学童クラブ下堀園	37
わかば子育て支援センター	38

1. 法人概要

法人名	社会福祉法人 わかば福祉会
法人設立年月日	昭和 47 年 3 月 21 日
代表者名	理事長 小島 伸也
法人所在地	富山県富山市下堀 8 番地
電話番号・FAX 番号	電話：076-481-6823 FAX:076-481-6826
従業員総数	282 名（令和 6 年 3 月 31 日現在）

2. 理 念

親子の幸せに貢献する

<基本方針>

未来に向かってぐんぐんのびる 輝く希望の木になろう

おかえりなさい

いつまでも わかばは 心のふるさと

いつまでも ほっとできる場所

共に泣こう 共に笑おう 共に育っていこう

手を取りあって

喜びも 不安も 共に分かち合います

きらめく瞳

ゆたかな心と生きる力を育てます

つながる心

出会って生まれえた愛を育んでいきます

3. 沿 革

昭和 43 年	4 月	わかば保育園 開設
	11 月	わかば保育園 認可（定員 40 名）
昭和 44 年	4 月	わかば保育園 増築（定員 40 名から 55 名へ）
昭和 47 年	3 月	社会福祉法人わかば保育園 設立 理事長に高尾捨太郎が就任
	4 月	わかば保育園 増築（定員 55 名から 100 名へ）
昭和 49 年	4 月	わかば保育園 増築（定員 100 名から 120 名へ）
昭和 51 年	4 月	わかば保育園 定員変更（定員 120 名から 150 名へ）
昭和 55 年	11 月	第 2 代理事長に野口直美が就任
昭和 57 年	4 月	わかば保育園 改築（定員 150 名から 120 名へ）
平成元年	11 月	わかば保育園 増築
平成 8 年	11 月	第 3 代理事長に小島葉子が就任
平成 9 年	4 月	わかば保育園 定員変更（定員 120 名から 150 名へ）
		わかば学童クラブ堀川園 開園
平成 13 年	4 月	わかば保育園 増築（定員 150 名から 170 名へ）
	7 月	わかば学童クラブ布瀬園 開園
平成 15 年	4 月	はりはら保育園 開園（民営化受託）
		第 4 代理事長に小島伸也が就任

平成 17 年	4 月	わかば学童クラブはりはら園 開園
平成 20 年	4 月	わかば保育園 定員変更（定員 170 名から 150 名へ）
平成 21 年	4 月	しんでん保育園 開園（民営化受託）
平成 27 年	4 月	わかば保育園 新築移転（定員 150 名から 194 名へ）
	5 月	わかばにこにこ園 開園
平成 28 年	3 月	わかば学童クラブ布瀬園 廃止
平成 28 年	4 月	きぼう保育園 開園
平成 30 年	4 月	石金こども園 開園（民営化受託）
		わかば学童クラブ下堀園 開園
令和 2 年	11 月	下堀こども園 開園
令和 3 年	4 月	わかば保育園 定員変更（定員 194 名から 195 名へ変更）
	4 月	わかばさくらんぼ園 開園
令和 5 年	4 月	わかば学童クラブ堀川園 A・B 開園（2 支援単位化）
		わかば学童クラブ下堀園 A・B 開園（2 支援単位化）

4. 事業内容

○第二種社会福祉事業

- 幼保連携型認定こども園（わかば保育園）
- 幼保連携型認定こども園（はりはら保育園）
- 幼保連携型認定こども園（しんでん保育園）
- 幼保連携型認定こども園（石金こども園）
- 幼保連携型認定こども園（下堀こども園）
- 小規模保育事業 A 型（わかばにこにこ園）
- 小規模保育事業 A 型（わかばさくらんぼ園）
- 放課後児童健全育成事業（わかば学童クラブ堀川園）
- 放課後児童健全育成事業（わかば学童クラブはりはら園）
- 放課後児童健全育成事業（わかば学童クラブ下堀園）

○公益を目的とする事業

- 事業所内保育事業（きぼう保育園）

○受託事業

- 地域子育て支援拠点事業（わかばにこにこ園併設子育て支援センター）

令和5年度 わかば福祉会 事業報告

1. 基本総括 ―こども・子育て家庭を巡る社会の動向―

2023年の出生数が75万人余り(厚生労働省の人口動態統計(速報値、外国人を含む)で過去最少となった。また、児童虐待の増加、自殺した小中高生の増加などこども・子育て家庭を巡る状況は深刻化している。

また、本年1月1日に発生した能登半島地震は甚大な被害を及ぼし、当法人でもわかばにこにこ園、下堀こども園で園舎に被害が発生した。当法人では最も被害のあった石川県の保育組織への支援カンパに取り組むとともに、専門的福祉人材からなる災害派遣福祉チーム「富山DWAT」に職員を2名派遣した。

富山県は2024年度、重点政策①で少子化対策、女性活躍の推進、こどもまんなか社会の実現を掲げ、子育て支援ポイント制度事業を(地域通貨を1歳半時に3万円)10月より実施することをはじめ、子育て環境充実を図っている。

富山市は子育て環境の充実について、こども基本法に基づく「富山市 こども計画」を策定し、こども施策を総合的に推進するとともに、「こどもまんなか社会」の実現に向けた機運の醸成に取り組んでいる。また、子育て世帯への経済的な支援として、国の方針に基づき児童手当を拡充するとともに、第3子以降の保育料の無償化や小・中学生へのインフルエンザ予防接種費用の助成、市営コミュニティバスの小・中学生の運賃の無料化を実施する。まちなか総合ケアセンターにおいては、産後ケアやお迎え機能を持った病児保育、心や身体に発達の遅れが心配される乳幼児への支援などを一元的・包括的に提供する。

このようなこども・子育てを巡る情勢の中で、わかば福祉会は富山県幼児教育センターや富山市社会福祉法人連絡協議会とともに「質の高い幼児教育」の実現と地域共生社会実現をめざす一翼として、地域における公益的な取り組みに積極的に取り組み、社会福祉法人としての役割を発揮してきた。

当法人は、常に「親子の幸せに貢献する」ために何をなすべきかを考え、各種事業に邁進してきた。

重点① 子ども・子育て支援新制度や社会福祉法人改革、自然災害などの被災地支援など社会の要請や地域ニーズへ対応した保育の取り組みや事業等の展開をすすめた。

② 子育て関係者など広く県民や地域社会に向けて養護と教育が一体となった「保育」の機能・役割についての理解を広げた。

③ 地域において、保育所が中心となり「保育の出前」活動に積極的に取り組み、子育ての喜びや楽しさを伝えとともに、子育てニーズや問題発見、発掘に努めるとともに、各種団体との連携により解決を図るよう努めた。

④ 幼保連携型認定こども園保育要領を積極的に実践し、学校教育との連携を進めた。「幼児教育センター」と一体となって、幼児教育の質の向上をめざした。

⑤ 保育ソーシャルワークの研修等を通じて、相談援助技術の向上を図った。

⑥ 認定こども園等の自己点検や第三者評価の仕組みを利用した保育の質の向上へ取り組んだ。

⑦ 富山市認定こども園協議会の強化を図るとともに組織強化を務めた。

2. 会 議

(1)評議員会・理事会 必要回数

令和5年 6月(令和4年事業報告、決算等)

令和6年 3月(令和5年度補正予算、令和6年度事業計画、予算等)

3. 役員会等

(1)施設代表者8園会議 【原則として月1回実施】

(2)監事会 【期日:6月(令和4年度事業報告及び決算監査)】

(3)経営委員会及び研修委員会

① 経営強化・事務部会議 【随時開催】組織基盤強化・体制整備、等組織全般の強化、推進

② 8園(連携・研修)会議 【随時開催】方針の具体化、個別園の状況把握と問題解決、研修会等の企画

(4)放課後児童健全育成事業運営委員会【クラブごとに年1回実施】

(5)第3者委員会(各保育園単位)

4. 事業内容

(1)法人内研修の実施

(2)8園の協力体制の確立。きぼう保育園、わかばさくらんぼ園の職員補充に協力。

(3)保育事務、保育打合せ、記録等就業時間内業務遂行を進めた

(4)未来委員会活動の推進

(5)事業規模を拡大し、安定経営の前進

(6)「保育の出前」の推進

(7)「14歳の挑戦」等次世代の子育ての担い手養成や子育てボランティアの受入れと育成

(8)保育教諭等の人材の確保・定着・育成(新人保育教諭13名、年度途中採用5名)・新人研修の強化

(9)給食の自主献立の推進・メフォス委託給食の停止

(10)学童クラブの対象児童の高学年化に伴う事業内容の見直し

5. 環境の整備

(1)わかば保育園の空調設備の更新(耐用年数到達)

(2)わかばにこにこ園のエレベーター修理、壁の修理

(3)石金こども園の学童施設の令和6年度建設に係る富山市補助確保

(4)はりはら保育園の保育室・お遊戯室の床の劣化に係る修繕計画化

(5)能登半島地震による下堀こども園の幼児室防煙垂れ壁・2階扉の破損の補修実施

6. 表彰の推薦

富山市認定こども園協議会、県社協会長表彰、全保協会長表彰等について、保育所運営及び本会事業貢献者等の推薦を行った。

7. 外部連携

市と県の保育組織・経営組織との連携、協働関係の推進及び関係行政との連絡調整、地域子育てネットワーク構築のため地域関係機関・組織との連携、協力を進めた。

令和5年度 事務部の取組

- (1) 事務負担軽減及びペーパーレス化のため、給与明細を web 配信とした。
- (2) 富山県保育士・保育所支援センター及びとやま U ターンガイドに求人を掲載し、広域圏を含めた保育人材の確保を図った。
- (3) 広報・宣伝活動として富山市子育て支援ガイドブックへの広告掲載や 2023 年度福祉のお仕事フェア inTOYAMA へ出展した。
- (4) 新卒者の定着を図るため、新卒採用者の座談会（7 月と 11 月）を開催した。
- (5) 保育の魅力発信のため、富山南高等学校及び富山いずみ高等学校のフィールドスタディの受入れをおこなった。
- (6) 事務負担軽減を図るため、補助金実績報告の一部を事務部に集約した。
- (7) BCP や中長期計画の策定を推進した。
- (8) 女性活躍推進法に基づく「えるぼし認定」3 段階目を取得した。
- (9) 富山県の「企業の障害者雇用担当者への個別支援」をうけて、障害者雇用の推進を図った。

令和5年度 社会福祉法人わかば福社会 児童在籍・特別保育等の事業実績数

(単位：人)

		令和5年度	令和4年度	令和3年度	対前期増減数	対前期比率
2・3号	0歳児	653	702	756	-49	93.0%
	1・2歳児	3,470	3,512	3,451	-42	98.8%
	3歳児	1,789	1,892	1,841	-103	94.6%
	4・5歳児	3,749	3,583	3,463	166	104.6%
計		9,661	9,689	9,511	-28	99.7%
1号	満3歳児	74	55	105	19	134.5%
	3歳児	243	298	252	-55	81.5%
	4歳児	301	233	182	68	129.2%
	5歳児	219	228	171	-9	96.1%
計		837	814	710	23	102.8%
総合計		10,498	10,503	10,221	-5	99.95%
延長保育		13,721	12,118	11,309	1,603	113.2%
休日保育		329	339	435	-10	97.1%
一時保育		466	315	168	151	147.9%
年末保育		30	52	41	-22	57.7%
延べ利用人数	学童	29,378	21,017	19,296	8,361	139.8%
	支援センター	5,752	5,586	5,157	166	103.0%

令和5年度 基本方針に対する到達点

わかば保育園

ねらい	施策	到達点
1、質の高い保育の実現の為に	☆保育の質の向上をめざして☆ 共に切磋琢磨し積み上げてきたスキルをさらに確実なものとしていけるよう振り返りを大切にしていける。また、子どもの姿・心に寄り添い、主体的に遊べる環境設定、日々の生活や行事の中での育ちのねらいを丁寧に考えていく。子どもも職員も“楽しい”と思える保育園を目指していく。新たに外部講師による新たな取り組み始動。 ☆保護者とともに☆ 見守りが必要な家庭、個別配慮児へ専門的対応が必須である。学びを深め、すべての保護者へ子育ての楽しさを伝え、思いを共有し寄り添う事で保護者自身の子育ての力を引きだしていく。	職員一人一人が子ども達の体験を大切に捉えて保育をすすめていた。行事については職員間でもよく話しあい、より良い方法での取り組みができたと思う。また、日常の保育の中で、環境を丁寧に見直す機会を多く持てたと感じる。 保護者との連携では個別懇談会、クラス交流会、クラス懇談会等を行った。クラスの取り組みは学童棟で日中行う事で落ち着いて話し合う事ができたと思う。保護者同士のグループワークの時間が互いを繋ぐ大切な時間であったと実感した。 クラスだよりドキュメンテーション記録掲示など取り入れ園の子ども姿を知らせてきたいくことで、子どもの姿を共有し、成長を感じられるよう工夫していった。 様々な配慮の必要な子が増えているため、まず保護者の話を傾聴することを心がけ、対話の時間を大切に育ちや関わりについての悩みに丁寧に応えていけるようにした。
2、施設の役割・あり方	☆地域への貢献と関係機関との連携 高齢者施設へのオンライン訪問等、新たな取り組み実践や地域民生児童委員さん、地域放課後デイサービス（児童発達支援施設）との連携をする。また支援センターとの連携強化し子育て講座や相談業務、地域の親子の現状など共有し、強み・課題を話し合う事で、園として貢献できることを考えていきたい。小学校との連携や個別に配慮が必要な子どもの育ちを大切に、保健センターや恵光学園、県リハ等との連携継続、見守り家庭等、市役所や児童相談所との情報共有を強化していく。	地域民生児童委員、保健推進委員の方は年に数回の訪問や行事参加など園を知ってもらう機会は定着してきた。 保健センターとの連携では育ちに気がかりな事があるお子さんとその保護者の支援の側面から協力体制を話す機会があった。さらに園として貢献できる事を引き続き考えていきたい。 また、児童相談所や富山市こども健康課とは、見守り家庭についての事案が増えており、定期的にケース会議をしながら、まずは保護者の子育ての労いを大切にしていける事等、様々な情報を共有していった。今後も適切な対応ができるようしっかり連携していきたい。
3、人材育成・研修	☆育ちあう職員集団に☆ 人と豊かに関わる保育園職員という仕事に魅力を感じ、職員間のコミュニケーションを大切にして信頼関係を構築していく。また、各種会議・ゼミをなどの持ち方を工夫し、子ども・保護者理解、共に働く同僚理解を深められるよう、前向きな意見が言いやすい風通しの良さと、共感することを大切にしていける。	年間を通して、体制の厳しさがあったが、クラス会議は大切にし、全体の昼礼などでリアルタイムでの発信することが難しい場合は伝達事項を書面にし、時間差、交代制にするなど会議の持ち方を工夫していった。 正規・臨時・パート職員や資格、職種の異なる職員すべての学びに繋がるよう、オンライン研修を有効活用したいと考えていたが、限られた職員

	☆リーダーの育成と研修制度 代表者会議をはじめ、各部門の現状や課題を話しあう機会を多く持つことで業務に対する役割を確認しリーダーシップを発揮できるようにする。互いの保育観や職員の思いを代弁することに繋げていく。各職員が必要なスキルに応じた研修に参加できるよう配慮する。 オンライン研修を取り入れ、正規以外の職員や他職種の職員にも学びの機会を設けていく。	の受講となり課題が残った。 代表者会議では、各部門の担当リーダーが中心となり発信することによって、子どもの育ちや家庭状況など共通理解できていた。また職員や保育についてもそれぞれの思いを尊重しながらアドバイスやフォローができるよう対話の時間を大切にしてきた。 リーダーが各保育室に入り一緒に保育することによって困りごとに早期に気づきアドバイスすることで解決できるようにしていた。
4、働き方改革と処遇改善	☆働きやすい職場環境にするためのさらなる工夫☆ 職員の家庭の事情を配慮し、多様な働き方があることを職員間で理解、尊重しフォローしあえる職員集団でありたい。また、勤怠システム導入に伴い、業務の効率化や行事内容の見直しを行い、事務時間の確保とノンコンタクトタイムを基本に、確実に休憩をとる事、年次休暇取得率向上に努めたい。また日々の教育・保育の振り返りの時間がとれるようにしていく。 ☆にこにこ園との連携 連携園として柔軟な人員配置や行事の参加、進級等を見据えた交流、などより確実な協力体制の強化を図る。	事務時間を有効に使い保育の準備を就業時間内に行うが事が増えてきた。 行事先は作業量が多いが、職員間で役割分担しながら互いにフォローしあえる姿が見られた。 タッチオンタイムの導入により、就業時間内を意識することが増えてきた。 年次休暇の取得は計画的にと考え推進してきた。 職員同士が互いに協力し、さらなる取得率アップに繋げていきたい。 行事の協力も含め、にこにこ園との連携は良好であり、柔軟な対応ができていたと思う。今後もコミュニケーションを大切に、様々な交流をしていきたい。
5、施設改修等	☆日々改善・見直しの積み重ね 高所等清掃や床のワックスがけ、園庭整備などの実施	日々の安全点検は丁寧に行い、職員からの要望など汲み取り、環境整備や修繕等を行っていた。 エアコン（ガスヒートポンプ）の不具合は破損箇所（原因）が特定できず時間と経費を要した。次年度の最優先修繕箇所となる。 年間の業務計画等、用務さんからの提案も多く良かった。樹木の管理や高所の清掃など定期的に行い、専門性を要する部分は業者への依頼もした。

令和5年度 事業報告

わかば保育園

- 4月 進級式 入園式
年中・年長児遠足 園児検尿 視力検査
- 5月 年少児遠足 芋苗植え クラス懇談会(3歳未満児)
年長児お泊り保育(立山青少年自然の家) ファミリーデー
- 6月 内科検診 眼科検診 歯科検診 運動能力測定
クラス懇談会(幼児)
父母の会総会(書面決議) プラネタリウム鑑賞(年長児)
3歳未満児個別懇談会 年少児個別懇談会
- 7月 竹馬作り・奉仕活動 盆踊り・夏祭り 親子クラス交流会(年中児)
七夕の集い プール開き ザリガニつり(年長児)
年中・年長児個別懇談会 幼児保育参加 3歳未満児保育参加
14歳の挑戦
- 8月 同窓会(1～6年生) 防火教室
- 9月 年中ナイト保育 14歳の挑戦
- 10月 運動会(3,4,5才)…蜷川小学校体育館 芋掘り 2歳児親子遠足
幼児遠足 焼きいもパーティー 内科検診
運動能力測定 14歳の挑戦 親子クラス交流会(1歳児)
- 11月 3歳未満児個別懇談会 歯科検診 視力検査
クラス懇談会(0歳児)
- 12月 生活発表会(幼児)…婦中ふれあい館
年長児個別懇談会 クリスマス会 親子クラス交流会(0歳児)
- 1月 新年お楽しみ会 年少・年中児個別懇談会 親子雪遊び遠足(年長児)
2歳児親子交流会
- 2月 節分の集い お店屋さんごっこ ねはんの集い(年長児)
防犯教室 3R推進スクール
- 3月 ひなまつりの集い
お別れ会 卒園式 修了式

令和5年度 児童在籍・特別保育の事業実績数(わかば保育園)

	2・3号					計	1号				計	総合計	延長保育			休日保育	一時保育	年末保育	病児・ 病後児
	0歳児	1・2歳児		3歳児	4・5歳児		満3歳児	3歳児	4歳児	5歳児									
4月	5	62	35	74	176	0	4	4	3	11	187	190	5	2	133	18	5		5
5月	5	62	35	74	176	0	4	4	3	11	187	199	5	3	123	16	0		10
6月	5	60	35	74	174	0	4	4	3	11	185	206	3	1	147	13	5		15
7月	9	62	35	74	180	0	4	4	3	11	191	229	5	5	152	19	4		11
8月	11	62	35	74	182	0	4	4	3	11	193	224	20	23	147	22	1		6
9月	14	62	35	74	185	0	4	4	3	11	196	228	22	16	113	15	0		6
10月	14	62	35	74	185	0	4	4	3	11	196	215	27	4	133	20	10		6
11月	16	62	35	74	187	0	4	4	3	11	198	229	17	8	124	17	5		16
12月	16	62	35	74	187	0	4	4	3	11	198	245	20	8	119	13	17	21	6
1月	17	62	35	74	188	0	4	4	3	11	199	189	20	1	108	16	8		10
2月	17	62	35	74	188	1	4	4	3	12	200	207	14	1	127	19	13		10
3月	19	63	35	74	191	1	4	4	3	12	203	251	19	1	167	27	17		5
計	148	743	420	888	2,199	2	48	48	36	134	2,333	2,612	177	73	1,593	215	85	21	106

令和5年度 基本方針に対する到達点 はりはら保育園

ねらい	施策	到達点
1、 質の高い保育の実現の為に	※保育の質を高めよう 「こどものやりたい」という思いを大事に生活の場を整えていく。 やってみたいと思える環境づくりを見直していく。こども主体の保育を保障し0歳から大切に見守り安心して受け止められる人的環境のもと、子ども達の「育ち」を中心に丁寧な保育を行っていく。子どもの気持ちに寄り添い人間関係の学びに繋がる関りを大切にする。今年度は新人職員も加わるので、保育を共有し、お互いの良さに気づき認め合い、高めあいながら共に育ちあう職員集団を目指していく。 ※保護者とともに ・子どもの育ちやその意味を丁寧に伝え、共に喜び合う事を大切にする。保育園側の思いだけにならないよう傾聴・伝えるスキルを身につけ、保護者と日々子どもの姿を話しながら、家庭と共に子どもの自己肯定感の向上を目指す。 ※人権を大切に ・多様化を尊重し人権を守ること生活を守ることなど、子ども達と一緒に保育の中できる取り組みを考えていく	・子ども主体の保育とはどんな保育なのか、「子どもにとってどうか」という視点を大切に保育者の思いが先行しすぎていないかを日々の保育の振り返りをもとに「子どもの姿を真ん中」において話しあう機会をもつようにした。また、個別に配慮が必要な子どもに対しては、人権を尊重し、人として大切にされあたたかい居場所づくりや安心できる人間関係の土台作りを心がけできないところではなくできているところに視点を向けていくことを大切にしながら家庭背景やこどもの心に寄り添うこと、共感することを心がけていった。 ・個別配慮の必要な子・支援が必要な保護者が増えているため、まず保護者の話を傾聴することを心がけ対話の時間を大切に、子どもの育ちや関わり方について保育園でのスモールステップの成功体験を丁寧に伝えていけるよう取り組んだ。 ・子どもの幸せのために自分たちができることを考え育ちについて喜び語り合いを大事にした。
2、 施設の役割・あり方	※地域の子育て支援の場としての役割強化 ・保育園の魅力を発信していきながら支援の場として役割を強化する。 。断らない一時保育（生後8週から利用できる一時保育は富山市内3園のみ）親子サークル 2 歳児クラスを設け活動の輪を広げていく。 ※地域との連携を深める ・幼保小の連携を密に園だよりを配布した、コロナ禍でできなかった交流の機会をもてるように働きかけていく。 ※針原地区唯一の幼児施設としての役割強化 ・富山県リハビリテーション病院、北保健福祉センターとの連携はもちろんだが、小学校との連携もさらに深め、子どもの発達を多方面から支援していく。	・親子サークルの様子や日常の子ども達の姿をInstagramも利用し発信していくことで保護者の方の理解が深めるきっかけに繋がっている。 ・針原小学校の学校運営委員会に月に定期的に参加し、幼保小の連携を図りながら、共通理解をもてるように進めていった。支援が必要な子どもの就学に向けて、教頭先生とのこまめな連携を図ることができ、スムーズに小学校進級へ進めることができた。 ・支援が必要な家庭への地域での連携を強め、気になる姿や子育ての悩みに寄り添い、良い手立てができるように保護者との面談や送迎時に顔をみて声をかけるなど配慮を心がけた。次年度の医療ケア児の受け入れに向けて看護師を中心に学びを深めていけるよう取り組んでいきたい。

3、 人 材 育 成・研修	※リーダーの育成 昨年に引き続きリーダー会議（副主幹以上）を1学期1回、部門リーダー会議（主幹以上）を2ヶ月に1回程度開催する。課題や議題に対する意見を持ち寄り、話し合う中でそれぞれが自分の役割を自覚し、リーダーシップを発揮できるようにする。 ※おおいに語り合う会議・ゼミにしよう ・保育の振り返りを通して子ども達の育ちや何に夢中になっているのか心が動いている姿を捉え、保育の語り合いを大事にしていく。	・クラス担任だけで悩みを抱え込まないよう、園全体でも思いを共有するようにし、活動の取り組みや子ども達の関りについてリーダーが中心となってアドバイスをしてきた。またどうしたら職員がより保育を楽しめるか、職員自身も主体的に保育を行えているか日常のあたりまえの保育を見直し会議などで語り合いを多くもつようにした。 ・地震をきっかけにBCP 会議を開いて安全点検や備蓄の見直し避難訓練のシミュレーションを行い子ども達と一緒に確認しあった。
4、 働 き 方 改 革 と 処 遇 改 善	※ノンコンタクトタイムの実現 ・書類時間（事務時間）以外に、思いを共有するためのノンコンタクトタイム取得ができるようにしていきたい。 ※有給休暇の積極的取得推進 ・継続的に計画的な有給取得をはかる。また土日を含めて一人1回4～5連休を取得する。	・幼児クラスにおいては、担任発信でクラスとして話したいことがある時や、困っている事がある時に、主幹、副園長がサポートに入りノンコンタクトタイムをとれるようにした。正規・非正規関係なく、クラスの事について向き合って考えることができ、良い時間になったと思う。 ・継続的に計画的な有給取得をはかり土日を含めて一人1回4～5連休を取得することができた。
5、 施 設 改 修等	※防犯・災害対策の強化 ・災害用品の備蓄をする。防犯カメラ増設。 ※園舎等の整備 ・築年数が古く、様々な部分に支障が出てきているが、修繕するところは修繕し園舎を大切に使っていきたい。園内の環境を見直していく。中長期計画を視野に入れながら子どもにとっての動線や魅力ある環境地域に必要とされる園舎づくりを考えていく。	・災害用品の備蓄については、備蓄品見直し災害の対策について安全計画の見直し、計画たて、実際に発電機や備蓄の点検も行なおうと決めたが、日々の忙しさで出来ていないので次年度は、具体的に日時を予定に組み込んで行く。 ・園庭や職員駐車場の土が減りあちこちに穴があいて凸凹しているので安全対策を進めていきたい。 ・老朽化する園舎は、1年を通して床や壁の劣化が原因でとげが刺さるケガが増え、ワックスかけやすりをかけるなどしてきたが子どもの安全を第一に次年度は、床の貼り替えを検討していきたい。将来の中長期計画の見通しとして、地域に必要とされる園づくり目指して子ども達の環境を見直し取り組んでいく。

令和5年度 事業報告

はりはら保育園

行 事 名	予定月日	参加年齢
入園式	4月6日（木）	新入園児
進級式	4月7日（金）	年長児・年少児
年長春の遠足	4月27日（木）	年長児
年中春の遠足	5月11日（木）	年中児
年少春の遠足	5月12日（木）	年少児
年長お泊まり保育	5月18日（木）～19日（金）	年長児
個別懇談会	5月23日（火）～5月31日（水）	全園児
1歳児・2歳児保育参観	6月5日（木）～9日（金）	くま・きりん
親子竹馬づくり	6月22日（木）・23日（金）	年長親子
夏祭り（おまつりごっこ）	7月4日（火）～5日（水）	全園児
同窓会	7月29日（土）	卒園児（1・2年生）
年中親子野外活動	9月8日（金）	年中児
運動会	9月30日（土）	年長児・年中児
2歳児保育参観（運動あそび）	10月4日（水）	2歳児・保護者
3歳児運動会ごっこ	10月5日（木）	年少児・保護者
2歳児遠足	10月10日（火）	2歳児
年少秋の遠足	10月11日（水）	年少児
年中秋の遠足	10月12日（木）	年中児
年長秋の遠足（来拝山登山）	10月13日（金）	年長児
焼き芋パーティー	10月26日（木）	全園児
年長個別懇談会	10月24日（火）～31日（火）	年長児
年少・年中生活発表会	12月1日（金）	年少・年中児
年長生活発表会	12月15日（金）	年長児
年長冬の遠足——（親子ふれあい）——	1月12日（金）	年長児
年長クラス懇談会	1月18日（木）	年長児
2歳児保育参観（ごっこあそび）	10月9日（木）	2歳児・保護者
お店屋さんごっこ	2月14日（水）～15日（木）	幼児
お別れ会	3月8日（金）	幼児
卒園式	3月16日（土）	年長児・年中児

誕生会 月1回 避難訓練（火災・災害） 月1回 不審者対応訓練 年4回

交通安全指導 月1回 年長児活動 鍵盤ハーモニカ教室（月1回）

幼児参加活動 体育指導（月1回） 内科検診・歯科検診 年間2回 眼科検診 年間1回

令和5年度 児童在籍・特別保育の事業実績数（はりはら保育園）

	2号3号認定				計	1号認定				計	合計	延長保育				休日保育	一時保育	年末保育	期別・期数別	
	0歳児	1・2歳児		3歳児		4・5歳児	満3歳児	3歳児	4歳児			5歳児	標準	短（前）短（後）						1号
4月	5	51	26	53	135	0	3	2	5	10	145	37	2	1	84	0	0	0	36	
5月	6	52	26	53	137	0	3	2	5	10	147	36	4	3	90	0	5	0	22	
6月	7	52	26	54	139	1	3	2	4	10	149	38	0	0	100	0	8	0	47	
7月	8	51	26	54	139	2	3	2	4	11	150	48	4	1	97	0	5	0	41	
8月	11	51	26	55	143	2	3	1	4	10	153	54	0	0	66	0	1	0	13	
9月	12	52	26	55	145	2	3	1	4	10	155	64	10	9	82	0	8	0	14	
10月	12	52	26	55	145	2	3	1	4	10	155	62	0	0	93	0	14	0	43	
11月	12	51	26	55	144	2	3	1	4	10	154	63	0	0	79	0	12	0	26	
12月	14	51	25	55	145	3	4	1	4	12	157	58	0	0	79	0	12	0	35	
1月	15	51	25	55	146	3	4	1	4	12	158	62	1	0	77	0	18	0	17	
2月	17	51	25	55	148	3	4	1	4	12	160	36	0	1	81	0	9	0	36	
3月	17	51	25	55	148	3	4	1	4	12	160	53	0	0	94	0	14	0	29	
計	136	616	308	654	1,714	23	40	16	50	129	1,843	611	21	15	1,022	0	106	0	359	

前年度 151 627 332 684 1,794 27 41 38 48 154 1,948 447 5 14 499 10 52 5 224

前年比 -15 -11 -24 -30 -80 -4 -1 -22 2 -25 -105 164 16 1 523 -10 54 -5 135

令和5年度 基本方針に対する到達点 しんでん保育園

ねらい	施策	到達点
1、質の高い保育の実現の為に	※保育の質の向上をはかろう - 若い職員が多い園であるが、副園長、主幹保育教諭が中心となり、保育の面白さや楽しさを共有しながら、少しずつ保育者自身が主体的に保育できる環境を目指していきたい。また個別に配慮が必要な子が多いので、園全体で一人一人の子の姿を共有し、安心できる保育者、落ち着ける環境のもと子ども達が心地よく過ごせるよう援助や配慮の方法を考えていく。 - 子ども達の育つ力を引き出し、支え、自らが大切な存在だという気持ちを持って成長するための土台を作る時期であることを再認識し、丁寧な保育を心がける。 - 保育者一人一人がそれぞれの良さや持ち味を尊重し、認め合い、お互いに支え合っていく。 ※保護者とともに - 保育参観・保育参加など保護者に普段の保育を見てもらう機会を増やすと共に、全園児の保護者と個別懇談を行い、その中で保護者の困り感に共感したり、子育ての楽しさを共有したりしつつ、保護者の子育て力を育み支えていく。	- 経験のある保育者が子どもと一緒に思い切り遊びを楽しみ、子どもの遊びやつづきなどをおもしろいと感じている姿を見ることで、若い職員が保育の楽しさを少しずつ感じられていたように思う。 子どもの主体性を尊重する上で、保育者の主体性も大切になってくるが、子ども達が安心して自分の思いを伝えることができることはもちろん、少しずつ保育者が子どもの思いに気づき、また自分の思いを発信できるようになってきているように思う。 ただ、まだまだ大人の思いが強くなりすぎるところもあるので、課題はあると感じている。 - 自然豊かな園なので、自然の中で変化に気づいたり、触れたり、生命の不思議に気づいたり様々な体験ができた。そこから命を大切にすることが育まれていると思う。 - 子どもも保育者も自分のことを認め受け入れてもらう経験が大切なので、目を見ての挨拶や「ありがとう」「うれしい」「がんばったね」という言葉をこれからも大切にしていきたい。 - 配慮が必要な子に対しては、その子に合った関わりはもちろんだが、行事への参加等については、保護者も含めて何度か話し合い、その子にとってのその時の最善を考えるようにした。また今までは希望性で行っていた個別懇談会を年長児は年2回、その他の年齢は年1回行ったところ、保護者の思いを聞くのはもちろんだが、子どもの育ちや困り感も今まで以上に共有できた。
2、施設の役割・あり方	※地域との交流・連携 - 学校運営協議会への参加及び、同じ校区内にある幼稚園との交流・連携を図る。また保内地区民生委員・児童委員の方、新田地区の方との連携を密にし、地域全体で子どもの育ちを支えていく。 - 県リハ、恵光学園、富山市まちなか総合ケアセンター、八尾保健センター等との連携を強化し、子どもの発育を多方面から支援していく。 - 地域ボランティアの方と稲作・野菜作りを協力しながら計画的に行い、それ	- 保育園・小学校教諭それぞれによる学習参観・保育参観を通して、子どもの育ちをお互いにとらえることができた。また、幼保小の職員による幼児教育・小学校接続研修の中で10の姿やスタートカリキュラムについてのグループワークをしたことは職員の意識向上につながったと思う。 - また、コロナで中止となっていた近隣施設との交流や地域行事への参加も再開した。今後も地域の方々とのつながりを大切にしていきたい。 - 地域ボランティアの方々とは子ども達も顔なじみになり、作物ができることや収穫す

	を「食育」、「SDGs」につなげていく。	ることを楽しみにしていた。また給食に入れてもらったり、クッキングやすいか割りを楽しんだりする中で感謝の気持ちも育まれたように感じる。
3、人材育成・研修	※育ち合い・認め合う職員集団に - 日々子ども達の事を語り合う事を大切に、疑問はその都度話し合い、解決しながら子どもへの共通理解を深めることができる職員集団を目指したい。また困った時にはフォローし合い、職員一人一人がリーダーシップを発揮できるような、協働的な職場環境を作っていく。 - 個別に配慮が必要な子への関わり方・支援の方法・保護者支援等について定期的（年6回予定）に研修を行い、気にかけていきたい子たちへの理解を深め、インクルーシブ保育の実現に向けて取り組む。 - 各クラス会議の充実を図り、一方的な話にならないよう対話を大切に、保育観の違う中でも、それぞれのクラス担任が子どもの事について語り合い、同じ方向を向いて保育できるようにしていく。	- 若手職員は困った事があっても発信できない事が多々あったので、先輩職員ができるだけ話しかけ、その日の子どものつづやきを共有したり、振り返りをしたりする中で、思いを引き出すようにし、一緒に考える事を大切にしたい。これからも話しやすい雰囲気づくりを大切にしていきたい。 - 全体ゼミとしての研修は、年2回しか開催できなかったのが反省である。次年度は計画的に開催したい。また遊びや活動を充実させるための環境づくりが課題だと思うので、全体で検討する機会を持つようにしたい。 - 全体ゼミだけでなく、個別の研修についても計画をしっかりと立て、一人一人の職員が必要だと思う研修に参加できるようにしていきたい。そして研修報告の中で研修での学びを他の職員にも広げていきたい。 - クラス会議は、できるだけ月1回開催するようにした。その結果、各クラスの子どもの姿、楽しんでいる事や育ちを共有するとともに、クラスの課題を見つける事にもつながった。
4、働き方改革と処遇改善	※より働きやすい職場環境を目指して - 年次休暇取得率前年度比アップを目指す。 - 幼児クラスのノンコンタクトタイム取得。 - 行事の見直し、行事の際の準備物の見直しを図る。 - 会議では、多様化した働き方の職員がいる事について相互理解を深める。	- 年次有給休暇に関しては、ほとんどの職員が希望通り取得する事が出来た。 - 幼児クラスは、行事に向けての話し合いは十分できていたが、作り物等の準備にかかる時間がやはり多いため、負担を感じている職員もある。今までしていたからしなくてはいけないではなく、違う方法を考え、変えるところは変えていく必要性を感じている。 - それぞれの職員に様々な家庭事情があるので、なかなか職員全体での会議ができない。それを理由にはいけないが、会議の内容についての共有がうまくできないことが課題である。全体に伝える工夫をしていきたい。
5、施設改修等	※安全・安心の見直し・改善点 1歳児クラス・遊戯室エアコンの入れ替え - 駐車場の安全確保のためのセンサーライト増設	1歳児クラス、遊戯室のエアコンは入れ替えることができたが、他にも老朽化しているエアコンがあるので、順に入れ替えていく必要がある。 - センサーライトは増設したが、もう少し台数を増やしたい。

令和5年度事業報告

しんでん保育園

- 4月 進級式 入園式 園児検尿 保育参観・保護者会総会
- 5月 春の遠足(年齢別) いも苗植え 運動能力測定 田植え・野菜の苗植え(地域の方と)
内科検診 歯科検診 クラス懇談会(年長)
年長お泊まり保育(立山青少年自然の家) ファミリーデー
- 6月 花の苗植え(年長児と民生委員さん) 観劇の会 防火教室
視力測定 眼科検診 お店屋さんごっこ
- 7月 竹馬作り プール開き こども夏祭り 14歳の挑戦(八尾中)
- 8月 園外保育(年長・立山青少年自然の家) 同窓会(1年生) ナイト保育(年中)
- 9月 運動会 秋の遠足(幼児クラス) 0～2歳児保育参加
- 10月 3、4歳児保育参加 来拝山登山(年長) いも掘り(年長) 遠足(2歳児)
八尾園芋ほり(年中) 焼いもパーティー 運動能力測定
- 11月 民生委員さんと球根植え(年中) 生活発表会予行練習(年長祖父母発表会)
保内祭(年長)
- 12月 生活発表会(幼児)
クリスマス会 ハートフルクリスマス(八尾観光会館・年長)
- 1月 冬の親子遠足→冬の親子交流会に変更
- 2月 2歳児保育参観 節分の集い
- 3月 ひな祭りの集い お別れ会 ありがとうの会(年長児の祖父母を招いて)
卒園式 修了式

令和5年度 児童在籍・特別保育の事業実績数（しんでん保育園）

	2・3号				計	1号				計	総合計	延長保育				休日保育	一時保育	年末保育
	0歳児	1・2歳児	3歳児	4・5歳児		満3歳児	3歳児	4歳児	5歳児			標準	短（前）	短（後）	1号			
4月	1	30	22	50	103	0	3	5	2	10	113	4	0	0	48	1	1	0
5月	3	29	21	50	103	0	3	5	2	10	113	13	0	2	56	0	0	0
6月	3	30	22	50	105	0	2	5	2	9	114	7	0	0	49	0	0	0
7月	3	30	22	50	105	0	2	5	2	9	114	7	0	1	49	0	4	0
8月	4	30	22	50	106	1	1	5	2	9	115	9	1	1	34	0	0	0
9月	6	30	22	50	108	1	1	5	2	9	117	11	0	0	35	2	0	0
10月	6	29	21	49	105	2	2	6	2	12	117	11	0	0	33	1	0	0
11月	9	29	21	49	108	3	2	6	2	13	121	15	0	0	35	1	0	0
12月	9	29	21	49	108	3	2	6	2	13	121	10	0	0	36	0	0	0
1月	9	29	21	49	108	3	3	6	2	14	122	9	1	0	35	1	0	0
2月	9	29	21	49	108	3	3	6	2	14	122	10	0	0	38	0	0	0
3月	9	28	21	49	107	4	3	6	2	15	122	3	0	0	39	1	0	0
計	71	352	257	594	1,274	20	27	66	24	137	1,411	109	2	4	487	7	5	0

前年度	75	436	304	503	1,318	12	66	24	36	138	1,456	46	10	13	537	4	15	2
前年比	-4	-84	-47	91	-44	8	-39	42	-12	-1	-45	63	-8	-9	-50	3	-10	-2

令和5年度 基本方針に対する到達点

石金こども園

ねらい	施策	到達点
1、質の高い保育の実現の為に	☆目の前の子どもの姿から教育・保育を考えよう☆ 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」では、環境による教育・保育の大切さが訴えられている。環境には物的環境も人的環境も含まれる。そこで、昨年度に引き続き、目の前の子どもの姿からどんな環境を設定すれば遊びや生活がより充実するかを職員と話し合いながら、教育・保育を進めていきたいと考えている。そのために、クラス会議や月間指導計画を作成する会議（通称月案会議）をより充実させ、子どもが真ん中の教育・保育の実現を目指したい。また人的環境においては、職員が子どもの心や思いをより深く考えられるよう、園内研修にて身近な事例やエピソードの検討ができるようにしていきたいと思っている。	目の前の子ども達の姿から、どんな環境設定にすると遊びや生活がより充実するかということ考えていきたいとしていたが、「不適切保育」が世の中を席巻したことで、現場が委縮してしまったことは事実であり、思ったような環境からの保育を進めていけなかったのではと思っている。そんな中でも、正規非正規に関係なく全職員がオンラインの不適切保育の研修を受ける機会を設けることができたことは、同じ思いで保育をするきっかけとなったと思っている。不適切な対応を意識し過ぎると子どもを叱るべき所で叱れなかったりして、日々難しい判断に迫られるが、そういうことを含めて保育の技術だと教えてもらい、より良い教育・保育につながったのではと思う。園内研修で事例やエピソードの検討をすることができなかったため、次年度には実現したいと思っている。また、個別に配慮が必要な子ども達への関わりは、クラスだけでなく園全体で見守り、より良い関わりができていたと思っている。今後も一人一人の子ども達のより良い未来のために、頑張っていきたい。
2、施設の役割・ありかた	☆地域とのつながりと専門機関との連携☆ アフターコロナの令和5年度。地域とのつながりが少しずつ再開していくことが予想されるので、積極的に地域に出向きつながりを深めていきたいと思っている。また、広い意味での地域だけでなく、園周辺の身近なつながりも大事にし、地域の皆さんに応援される施設を目指していきたい。また、様々な家庭背景があり、地域の関係機関との連携が必須である。こども園でできることには限界があるが、“親子の幸せ”のためにできる支援をしていきたい。また、個別に配慮が必要な園児の対応を地域の専門機関と連携しながら進めていきたいと思っている。	新型コロナウイルス感染症が5類相当となり、地域とのつながりが少しずつではあるが再開している。地域からお願いされた事に対しては応えているが、当園から発信することはなかったので、そこは今後の課題だと思っている。園周辺の身近なつながりは大事にしたいところであり、機会をとらえて声掛けをしているが、石金こども園を応援してくださる方がいらっしやるのがうれしく今後も大切にしていきたいと思っている。 様々な家庭の事情で気にかけていかなければならない家庭があり、保護者の頑張りもわかるのだが、限界もあるため、その子にとっての最善の利益を考えつつ対応を考えてきた。個別に配慮が必要な子ども達その他機関との連携は、話し合いの機会を持ちながら、進めていくことができたのではないかと考えている。

3、人材育成・研修	☆自ら考える職員集団へ☆ 公立保育所からの民営化も6年目を迎え、若手職員も育ってきて、頼もしいばかりであり、みんなで支え合える職員集団に成長しつつある。今年度はそれをもう1歩進め、職員それぞれが自分の立場や役割を考え、自ら動ける職員集団を目指したいと思っている。トップダウンで決めなければならないことも多々あるが、様々なことを職員間で話し合っ決めてられるようにしていきたいと思っている。そのためにエリア会議等で目の前にある課題を投げかけ、どうしたらいいのかを当事者の職員で考えられるようにしていきたいと思っている。研修は積極的に参加できるように配慮し、園内研修では非正規の先生方にも参加してもらえるようオンラインと参集形式の両方を活用し充実できるようにしていきたい。	若手・中堅・ベテランとバランス良い職員集団の中、それぞれが自分の役割を考えながら支え合い補いながら乗り切った1年ではあったが、自ら考える職員集団になったかと問われれば、まだまだ不十分だと思われる。これは、上に立つ者の姿勢にも大いに改善すべき点があり、話し合いを大事にしてとは思っているが、時間の使い方の工夫ができなかったと反省している。次年度にはそれを改善し、職員の主体性を育んでいきたいと思っている。 外部の研修には積極的に参加できるよう配慮してきたが、園内研修は思うように進められず反省である。そんな中オンラインでの研修を全職員が受けることができたことは大きな成果であったと思われる。次年度もオンラインの研修と参集形式の研修のそれぞれの利点を生かし、職員のスキルアップを目指していきたい。
4、働き方改革と処遇改善	☆より働きやすい職場環境と仕事の効率化☆ ICカードによる勤怠管理が本格的に始まる今年度。仕事の効率化をしっかりと図っていききたいと考えている。そこで、ICT化を1歩でも2歩でも進めるため、 unnecessary書類はやめ、取得できている事務時間に加えて、昼寝のないクラスの日々の事務をする時間や保育の準備をする時間を勤務時間内で確保できないか模索し、実現していきたいと思っている。また、長くやりがいを持って働き続けられるよう、それぞれに合わせた働き方を提案できるようにしていきたい。	ICカードによる勤怠管理が始まり、当初戸惑いもあったが、職員一人一人が仕事の効率化と時間の使い方を見直す良い機会となったと思われる。また、保育の現場でも少しでも仕事の効率化を図るために、できるICT化を一步ずつ進めてきた。昼寝のないクラスの事務時間や保育の準備時間の確保も現場の申し出と工夫により勤務時間内に少しは確保できたのではないかと考えている。有給休暇の取得や子育て中の職員への働き方についても、より良い働き方を保証し、やりがいを感じられたのではないかと考えている。
5、施設改修等	☆日々の安全対策と遊びの環境の整備☆ 今年度も大きな修繕等は予定していないが、日々の安全点検から見えてきた修繕や改善をしっかりと行っていききたいと思っている。そして、昨年度実施できなかった園庭の築山の改修に着手していきたいと思っている。また、より遊びが発展するよう、必要な遊具や用具の購入を考えている。	日々の安全点検や職員からの提案の修繕や改善は概ねできたのではないかと考えている。また、園庭の築山を改修し、高さを上げ人工芝を張ったことで、子ども達が楽しめる築山となり、また遊びながら足腰を鍛えられるものになったのではないかと考えている。また、室内でも体を使って遊べるジャングル遊び（通称ろく木）を導入できたことは、子ども達の体づくりという観点からもとても良かったと思っている。

令和5年度事業報告

石金こども園

- 4月 進級式 入園式 おはなしワールド（年長）→東部図書分館
視力検査 保護者会総会（書面にて）
- 5月 春の遠足（年長・年中）→魚津水族館
（年少）→空港スポーツ緑地公園・大沢野消防署・大島絵本館
園児検尿 視力検査 運動能力測定
お泊まり保育（年長）→立山青少年自然の家
- 6月 内科検診 歯科検診 プラネタリウム鑑賞（年長）
交通安全教室
- 7月 セタの集い プール開き 夏まつり（2歳児・幼児クラス） 防火教室
保育参加（年中・年長・年少・2歳児） 14歳の挑戦（東部中）
- 8月 同窓会 個別懇談会（年長・希望者）
- 9月 運動能力測定 2歳児遠足（堀川朝菜町公園・下堀こども園・空港スポーツ緑地公園）
運動会（年少） 来拝山登山（年長）
14歳の挑戦（山室中）
- 10月 運動会（年長・年中）→不二越体育館 保育参加（0・1歳児）
秋の遠足（年長・年中）→ファミリーパーク
（年少）→岩瀬スポーツ公園
歯科検診 内科検診 視力検査 14歳の挑戦（堀川中）
やきいもパーティー
- 11月 生活発表会（2歳児）（3歳児）
- 12月 生活発表会（年長・年中） クリスマス会
- 1月 新年お楽しみ会
冬の自然体験（年長）→立山青少年自然の家
- 2月 節分の集い 成田山節分会（年長）
山室小交流会
- 3月 ひなまつりの集い お別れ会 卒園式
終了式

令和5年度 児童在籍・特別保育の事業実績数(石金こども園)

	2・3号					計	1号				計	總合計	延長保育				休日保育	一時保育	年末保育	病児・ 病後児
	0歳児	1・2歳児	3歳児	4・5歳児	満3歳児		3歳児	4歳児	5歳児	標準			短(前)	短(後)	1号					
4月	5	85	48	96	234	0	4	6	5	15	249	116	11	5	125	6	11	0	29	
5月	5	85	47	95	232	0	7	7	5	19	251	153	23	24	141	6	0	0	38	
6月	7	84	46	94	231	0	7	7	5	19	250	171	8	12	176	6	0	0	34	
7月	8	84	46	94	232	0	7	7	5	19	251	163	3	18	141	10	0	0	33	
8月	8	84	46	94	232	0	7	7	5	19	251	129	4	9	188	10	0	0	18	
9月	11	84	46	94	235	0	7	7	5	19	254	167	7	8	156	14	0	0	10	
10月	11	83	44	94	232	0	7	7	5	19	251	160	12	9	199	7	0	0	22	
11月	11	84	44	94	233	0	7	7	5	19	252	159	6	8	177	17	1	0	16	
12月	12	83	44	94	233	1	7	7	5	20	253	152	4	9	185	0	0	9	36	
1月	12	83	43	95	233	2	7	6	5	20	253	152	3	27	182	7	0	0	31	
2月	12	83	43	95	233	2	7	6	5	20	253	143	3	24	187	16	0	0	8	
3月	12	83	43	95	233	2	7	6	5	20	253	142	22	42	190	8	0	0	15	
計	114	1,005	540	1,134	2,793	7	81	80	60	228	3,021	1,807	106	195	2,047	107	12	9	290	
前年度	128	985	609	1,216	2,938	23	70	60	82	235	3,173	1,964	105	229	2,142	123	8	9	260	
前年比	-14	20	-69	-82	-145	-16	11	20	-22	-7	-152	-157	1	-34	-95	-16	4	0	30	

令和5年度 基本方針に対する到達点 下堀こども園

ねらい	施策	到達点
1、質の高い保育の実現の為に	★質の高い保育をめざす ・保育者自身も“保育が楽しい”と思えるような保育を展開する。（環境を通じた保育。環境を生かしたワクワク・ドキドキする保育） ・養護を基盤とした月齢別の保育を進める。（未満児は月齢別のクラスとし、ゆったりとしたかわわりを大切にしていく） ・ものがたり保育の展開 ・こどもの主体性を尊重した保育の推進 ・遊びと生活中心の経験主義教育 ★保護者と共に ・保護者支援・保育参加を進める。 ・家庭訪問の実施。家庭環境を知りよりこども理解を深めていく。 ・行事はまだまだ検討を重ねながら進めていく。	・4年目となった下堀こども園だが、特有の環境などを工夫して保育に取り入れていきたいと試行錯誤の1年だった。生活発表会では、階段を利用した「100階建ての家」の劇、登場にすべり台を活用するなど環境を生かし、楽しむことが出来た。さらに、2階のあなぐらは、ナイト保育でプラネタリウム、お店屋さんごっこで映画館になったり、学童さんが作品展を開いたりして、ワクワクする保育実践が出来たと思う。 ・下堀こども園の2度目の年長児は、昨年、年長の子の行事への取組みをそばで見る経験ができたことで、行事に対しても見通しが持て、不安なく意欲的に取り組む姿が見られ下堀こども園での伝統の第一歩となったと感じる。まだまだ、行事などは検討すべきことがあると思うが、子どもが楽しいと思える行事をさらに検討を重ねていきたい。 ・6月に1か月間、家庭訪問月間を設けた。時代に逆らい実施したが、家の玩具、絵本、環境など実際見させていただくことが出来、家庭での子どもの様子をより具体的に知ることが出来た。アンケート結果では、肯定的な意見が多く、保育中に訪問するという負担はあったが、実施してよかったと感じる。
2、施設の役割・あり方	★地域の子育て支援の場としての役割の拡充 ・一時保育専門クラスの設立をし、断らない一時保育を目指す。また、親子サークルもスタートさせ、地域の子育て家庭の集いの場としての役割を果たしていきたい。 ★関係機関との連携を深める ・情報共有や互いに学び合える場を作り、小学校との連携を深める。 ・医療ケア児・個別配慮児など関係機関との連携を取りながら、支援の幅を広げていく。	・今年度も「断らない一時保育」をモットーに進め、福祉会内の他の園での受け入れが困難である場合の受け皿にもなった。一時保育室でゆったり過ごす子もいれば、各年齢の部屋と連携し一緒に過ごす時間も設けるなど子どもに合わせて柔軟に対応した。 ・地域の中のこども園として親子サークルを開始。たくさんの親子が参加してくださった。地域の子育て家庭のフォローも必要な役割であり、ゆったりと話をしたり、交流の輪をつなげたり、園児との交流をしたりホッとする場を目指した。 ・フィールドスタディーで、富山南高校、いずみ高校の学生を受け入れた。子どもたちと触れ合う体験をととても喜び、また、こども園の仕組みや現在の子育て環境の状況など知ってもらう事が出来たと思う。

		・小学校との連携を密にとるよう配慮した。幼児教育センターの訪問研修などにも近隣小学校の先生をご招待し、参加していただいた。子ども園での取り組みもじっくり見ていただくいい機会となった。学習参観などにも誘っていただき、学童の子や、卒園児の学校での姿も見る事が出来とてもよかった。
3、人材育成・研修	★お互いを認め合える職員集団を目指して ・職員が気になることを課題とし、学びあっていく。他愛もないことが話し合える職員間の関係づくり。良いことも悪いことも言い合える関係づくりをしていく。 ・新人職員の育成、 ★全員で学び合える環境を整える ・職員集団で研修を進める（正規も臨時職員も一緒に学ぶ機会を持つ） ・園内研修と園外研修を進め、研修報告から職員全体の学びとする。	・学年会議を定期的に行うなど、正規だけでなく臨時職員も含め、意見を出しながらクラス運営が出来るように努力したが、学年ごとに実施の差があった。 ・新人職員は辞めることなく続けることができ、若手同士の仲も深まり、いい関係づくりが出来ていると思う。また、相談しやすい雰囲気作りを ・副園長、主幹は自分の仕事で手一杯になり、余裕がなく各種会議も後手に回ることが多く、なかなかゆっくり話す機会を持つことができなかった。 ・危機管理研修は、職員のほとんどが参加し、様々な立場から意見を交換することができた。 ・個別配慮児も増えてきたので、担任だけでなく職員全体で共通理解を図ることが大事になってくるため計画的にケース会議や部門別会議を設けていく必要がある。
4、働き方改革と処遇改善	★より働きやすい職場にするために努力する ・事務時間を確保する。また、クラス会議や学年会議の時間も定期的出来るように配慮する ・職員配置基準を遵守。	・事務時間は学童の担任もフォローに入ってもらえる環境もあり、体制をみながら十分に確保できるように配慮した。 ・さらに年長、年中クラスの担任は行事も多く、昼寝の時間もないので、担任同志で話合う時間を確保できるよう努力した。 ・年次休暇も計画的に取得してもらい平均10日以上取得。
5、施設改修等	・2階あなぐらの活用方法を考える	・元旦の地震で、年長と年中クラスの防煙垂れ壁のガラスが割れ破損。補助金での修繕を検討中。現在は、割れた部分のみ外してある。 ・あなぐらの活用については「ねらい1」参照
6、その他		

令和5年度事業報告

下堀こども園

4月	進級式 入園式 交通安全教室 クラス懇談会（年長） 園児検尿
5月	春の遠足（幼児クラス：太閤山ランド） いも苗植え お泊り保育（年長）
6月	保育参観・保護者会総会 歯科検診 家庭訪問 内科検診
7月	七夕の集い プール開き 年中・年長お昼寝開始 プラネタリウム（年長） 竹馬作り（年長） 夏まつり
8月	園外保育（沢）（年長）
9月	ナイト保育（年中） 運動会予行練習 運動会（幼児）
10月	秋の遠足（年長…来拝山登山 年中…海王丸パーク・県営渡船・あいの風プロムナード 年少…岩瀬スポーツ公園） 芋ほり（しんでん・わかば合同） 焼きいもパーティー 2歳児遠足（空港緑地公園） 運動能力測定 歯科検診
11月	内科検診 視力測定 生活発表会予行練習
12月	生活発表会（2歳以上） クリスマス会
1月	新年お楽しみ会
2月	節分の集い 学童・年長交流会 0.1歳児親子交流会
3月	ひなまつりの集い お別れ会 卒園式 終了式

令和5年度 児童在籍・特別保育の事業実績数(下堀こども園)

	2号3号認定				計	1号認定				計	合計	延長保育				一時保育	年末保育	病児・病後児
	0歳児	1・2歳児	3歳児	4・5歳児		満3歳児	3歳児	4歳児	5歳児			標準	短(前)	短(後)	1号			
4月	6	34	22	39	101	0	4	6	5	15	116	96	11	7	66	7		29
5月	6	34	22	40	102	0	4	6	4	14	116	105	16	13	57	14		13
6月	7	34	22	41	104	1	4	6	4	15	119	74	27	16	38	3		19
7月	8	34	22	41	105	1	4	6	4	15	120	61	1	7	50	17		27
8月	9	34	22	40	105	1	4	6	4	15	120	52	2	19	122	18		18
9月	9	34	22	40	105	1	4	6	4	15	120	103	16	22	91	37		16
10月	10	33	22	40	105	1	3	6	4	14	119	69	0	11	104	26		21
11月	10	34	22	40	106	2	3	6	4	15	121	70	2	12	119	19		11
12月	10	33	22	40	105	2	4	6	4	16	121	70	1	2	154	18		31
1月	10	33	22	40	105	2	4	5	4	15	120	59	5	3	135	20		20
2月	11	33	22	39	105	3	4	5	5	17	122	80	3	9	120	21		32
3月	12	33	22	39	106	4	4	5	5	18	124	67	0	9	160	23		19
計	108	403	264	479	1,254	18	46	69	51	184	1,438	906	84	130	1,216	223	0	256

前年度 112 408 232 322 1,074 2 79 62 26 169 1,243 1,022 242 104 774 75 9 233

前年比 -4 -5 -33 7 25 15 195 -116 -158 26 442 148 -9 23

令和5年度 基本方針に対する到達点

わかばにこここ園

ねらい	施策	到達点
1、質の高い保育の実現のために	◎安心、安全、家庭的な雰囲気大切に 職員同士のコミュニケーションを大切にしていける。小規模保育の良さを活かしながら、子ども主体の丁寧な保育を心がける。 職員全体で子どもの成長を喜びあい、ラベル付けすることなく一人一人の個性を大切に、日々の温かな会話を大切にしていきたい。 保護者の不安や心配を考慮しながら、少しでも多くの園内情報を発信していけるようスピード感をもって対応していきたい。	保育士の平均年齢が若干若くなり、男性保育士も加わったことで更に活気のある園となった。職員同士のコミュニケーションを大切にすることから、子どもの主体的な動きや活動においても意識することができるようになり、過ごしやすい雰囲気作りができたと感じる。 送迎時等に保護者との会話から早く気づいてあげることができ、すぐに対応できたのは良かった。又、園内には支援センターもあるのでセンターの職員と連携しながら、温かく親子を見守ることができた。 親子遠足や、園外保育等、時期を逃さず楽しむことができたのは、職員同士の連携がうまくいったからだ感謝している。園外保育は小規模園での交流も深まり、大変有意義なものでした。
2、施設の役割・あり方	◎地域に根ざした暖かい保育園づくり 神宮寺にお参りの方や地域の方、業者さんの訪問や電話対応など、職員一人一人が明るくきちんと対応することを心がけていきたい。又、基本的な事ではあるが、職員の言葉遣いや身だしなみにおいても再度確認し、イメージを大切にしていきたい。 施設見学の親子は緊張しながら訪問される方もいるので、温かく迎え入れ、一時保育や支援センターの存在を知らせながら情報提供を心がけたい。	小規模園には遊戯室や園庭がない分、どんどん外に行き気分転換に出かけた。子ども達も嬉しい気持ちになった。人と触れ合うことの大切さを感じ取る良い機会になった。 人口減少が進行中の中でも、一時保育の利用そして施設見学に来園してくださった親子には感謝しています。 にこここ園の存在をもっとアピールしていなくてはと思います。
3、人材育成・研修	◎0、1、2歳児一人一人の『らしさ』を追求する 新人保育士もいる中で、職員全体で乳児保育の学びを深める機会を積極的に行っていきたい。子どもの月齢にあった対応は、発達の先取りをするということではなく、子どもに寄り添った関わりをするということをモットーに取り組んでいく。又、「させなきゃいけない」という誤った保育とならないよう話し合っていきたい。その中で、子ども一人一人の「らしさ」を認め、「その子の良さ」として見守っていけるような雰囲気づくりをしていきたい。又、職員一人一人の気づきやアイディアを活かし、園全体で楽しみながら、達成感と自信に繋げていけるよう盛り上げていきたい	毎月のクラス会議では、年齢ごとの月案を検討し、その時のクラスの状況や一人一人の子どもの様子をクラス担任全員で話し合った。担任の思いと、客観視する者（園長、副園長）との思いを伝え合うことで、その都度環境を見直すことができた。その継続こそが、園全体の職員の意識へとつながり、子どもの成長にも影響が出るのだということを感じた。また、年度当初には富山でも不適切保育の事象があり、決して忘れてはいけないことです これからも職員が満足できる達成感にて保育に自信をつけてもらいたいと思います。
4、働き方改革と処遇改善	◎様々な働き方と効率の良い仕事 タイムカードの導入にて職員の働き方を考えていき、又、体制に困ったときは、わかば保育園職員と連携を図り、互いに補っていききたい。事務時間のとり方を工夫し、効率の良い仕事ができるように配慮する。又、年次有給休暇は計画的にとれるようにする。	子育て家庭の職員が多く、休みが重なることもあったが、職員の保育力がついてきていることと、支援センターの職員の協力があってことで困難をのりこえることができた。空いた時間を工夫しながら事務時間をとることができた。
5、施設改修等	◎保育を充実させるための環境作り 片づけが苦手な職員も整理整頓がしやすいよう、棚や押し入れの収納を工夫していく。	能登半島地震での施設への影響においては、防災対策等をしっかりと取り組んでいきたいと思っています。

令和5年度 事業報告

わかばにこにこ園

4月	お花見散歩	全園児
5月	クラス懇談会	全保護者
7月	七夕の集い	全園児
	水遊び	全園児
	夏祭り	全園児
8月	園外保育	2歳児
10月	親子遠足	全園児
	ピザ作り・フルーチェ作り	1・2歳児
	にこにこ運動会(学童園庭)	全園児
	ハロウィンパーティー	全園児
11月	園外保育(奥田公園)	うさぎ組
12月	クリスマス会	全園児
1月	新年お楽しみ会	全園児
2月	節分の集い	全園児
	お店屋さんごっこ	全園児
3月	ひなまつりの集い	全園児
	ありがとうお別れの会	全園児

1, 2歳児親子遠足
は、ファミリーパー

1,2歳児

- ※誕生会は個人にあわせて各クラスで実施
- ※健康診断・歯科検診はどちらも春・秋に各1回実施
- ※眼科検診は春1回
- ※身体計測は月1回実施
- ※検尿は年1回(4月)
- ※避難訓練(火災と災害)は月1回、不審者対応訓練は年4回実施
- ※交通安全指導は月1回
- ※個別懇談会(春は希望者のみ・冬は2歳児のみ)

令和5年度 児童在籍の実績数								
	0歳児	1歳児	2歳児	合計	延長	一時	休日	年末
4月	1	6	6	13	20	2	0	
5月	1	6	6	13	15	1	0	
6月	1	6	6	13	23	3	0	
7月	1	6	6	13	17	2	0	
8月	1	6	6	13	27	2	0	
9月	2	6	6	14	23	2	0	
10月	2	6	6	14	25	0	0	
11月	3	6	6	15	26	0	0	
12月	4	6	6	16	24	0	0	
1月	4	6	6	16	21	0	0	
2月	4	6	6	16	24	0	0	
3月	5	6	6	17	31	0	0	
合計	29	72	72	173	276	12	0	0
前年度	56	72	72	200	67	25	1	2
前年度比	-27	0	0	-27	209	-13	-1	-2

項目	ねらい・重点施策	到達点
1、質の高い保育の実現の為に	<u>1、子どもにとって居心地良い時間・空間に</u> ・小人数ならではの家庭的保育を継続して行う中で、子どもひとり一人に応じたきめ細かい、そして子どもの声をしっかり受け止められるような保育を心がける。 0.1.2歳児の異年齢の子どもたちがそれぞれの生活に無理のないように、発達に応じて変化のある環境の工夫を行う。(人的環境、室内環境等) <u>2、保護者と一緒に子どもの成長を喜び合えるように</u> ・必ず担任が会える利点を生かし、保護者の気持ちや悩みに寄り添い、共に子育てをし、共に育ち合う保育をめざす。またきっぷすノートを活用して、リアルタイムに子どもの様子を伝えて安心して働いてもらえるようにする	☆子ども一人ひとりのその時期の様子など、職員全員で共有し、同じ思いで子どもに向き合えるように、話し合いを密に持つようにした。 ☆今年度は当初から人数も多くにぎやかだったが、その分職員の人数もいるので一人一人の思いやりたい遊びを汲み取りながら保育を進めて行くことができたと思う。慣れるのに1カ月以上かかった新入園児もいたが、その子が求める保育士が常に関り、他の職員がフォローするという体制を取ることが出来た。結果安定した生活が送れるようになったので、小規模ならではの役割分担が出来たと思う。 ☆室内環境は、今年度その時期に応じた変化がなかなか出来なかったと反省している。ワンフロアで人数が多くなった時の工夫の仕方を今後も考えていきたい。 ☆雨が降っていない日はほぼ戸外に出掛けた。年齢差があるため時には2グループ、3グループに分かれて行動した。 ☆駐車場の関係で園の中まで入ってもらうことは出来ないが、短くても担任が送迎時に保護者と話す機会を持つように心がけた。子ども達の成長を共に喜び合い、子育ての悩みを共有することが出来たと思う。 ☆きっぷすノートは気軽に連絡できる手段として活用しやすく、写真の更新も頻繁に行うことが出来た。
2、施設の役割・あり方	<u>1、「ホクタテ」さんとのつながりを大切に</u> ・現在もさまざまな協力をいただいでいて、この関係を今後も大切につなげていく。また定員減への検討を理解してもらうために、園の状況を今以上に詳しく伝えていく。またホクタテの事業所内という位置づけを外部の方にも知ってもらうために、HP などへの掲載を依頼してみる。 <u>2、地域との交流を丁寧に</u> ・園庭が無い為近くを散歩したり、公園に行ったりと出掛ける機会を多く持つ中で、地域の方と挨拶を交わしたり、触れ合いを大切にしていく。	☆今まで担当して下さった部長さんが退職され新しい方になったので、いろいろな面で改めて説明しなければいけないことも多かった。何回か話し合いを持つ中で、定員減の話も含めて理解していただけた。ただ施設の関係でご迷惑をおかけしたことは反省し、厳重に職員に指導した。 ☆ホクタテさんのHPへの掲載まではお願いできなかったが、園独自のHPを立ち上げたいと思う。 ☆散歩の際には、地域の方や他園の方への挨拶をしっかり行い、温かく見守っていただけた良かった。
3、人材育成・研修	<u>1、「乳児保育」とは？をいつも念頭に</u> ・小さな集団の中でそれぞれの役割分担をしっかりと考え、こども主体の保育ができるよう乳児保育の学びをより深め、自己研鑽に励む。 <u>2、話し合うことによって成長できる職員集団に</u> ・定期的に時間を作り、また気になる事例があった時はすぐに発信し職員全員で話し合う機会を多く持つようにする。	☆職員が多数入れ替わり、それぞれの保育感の違いや今までの環境の違いで、最初は共通理解できない事もあったが、自分の思いを出し合い、認め合いながら職員集団をゆっくり作っていったと思う。 ☆子どもの人数が例年より多かったことで、今までのやり方を変えてみたり、それぞれの年齢の生活を大事にすることを常に念頭において保育を進めることで学びも多かった。 ☆研修にはなるべく多く参加出来るようにし

	・お互いの保育を高めあえるような仲間になれるよう、それぞれが意識しながら話し合いに臨む努力をする <u>3、園内研修を充実させる</u> ・参加した研修の学びを伝えあったり、書籍から参考になる文章を紹介したり、日々の中でも学ぶ姿勢を持つようにする。また他の園の研修に参加させてもらったり、同じ小規模保育園（他法人でも）で一緒に学ぶ機会を持つ。	た。勉強したことは他の職員に報告をしてみんなの知識になるように話し合いの機会を多く持った。 ☆休憩時間を利用し、園児達の特徴を共有、認識しながらこれからの保育に活かした。とても有意義な話し合いが多く持てたと思う。 ☆途中で職員が入れ替わったが、子ども達は情緒不安定になることなく生活することが出来た。 ☆小規模保育園の事を学ぶ研修等がなく、今後情報交換などしたり、視察できる機会を作っていきたいと思った。
4、働き方改革と処遇改善	<u>1、支えあう職場環境を模索する</u> ・小さな職員集団の中でみんなが無理せず働けるよう、有給・振替休日・事務時間・保育の準備時間を取得できるように工夫する。また法人の他園に協力を依頼する	☆有給休暇の取得は全員が10日以上取得した。自分の取りたいときに取れるようお互い様の気持ちでみんなでカバーすることが出来たと思う。 ☆事務時間は公平に確実に取得することが出来た。
5、施設改修等	<u>1、ワンフロアを出来るだけ広く効率よく使うために</u> ・異年齢の子どもたちが過ごす限られた空間の中で、何があってもどうすればより快適に生活ができるか、子どもたちの動線を意識して環境を整備していく。（環境向上事業の活用）（棚や押し入れの更なる見直し）	☆環境向上事業で低い棚を購入し、コーナー作りに使ったり、部屋を広く見せる工夫をした。また押入れの中を整理し、長年使っていないものを処分したり、置き方を変えたりして、いつも使う遊び道具を楽に出せるようにした。 ☆お昼寝中に泣いたり、起きてしまう子が過ごせる空間を、ホクタテさんに働きかけて使っても良いお部屋を提供してもらった。あまり行く機会はなかったが、今後も必要な時は利用していきたい。
6、その他	<u>1. さまざまな感染症対策のさらなる強化</u> <u>2. 小規模3ヶ園での連携・情報交換、また他法人の小規模園との交流</u>	☆消毒等の衛生面において、話し合い徹底を図っていたが、新型コロナウイルスとインフルエンザが流行した。ワンフロアの生活の中で、これからも徹底していきたい。 ☆今年度はきぼうの職員が土曜当番を石金こども園でやったことで、利用の園児の情報なども伝えやすく、伝達ミスもなかったのが良かった。 ☆今年度は3園合同の行事を2回持つことが出来た。少しずつでもこういう機会が増えていくとお互いの学びになると思った。

令和5年度 事業報告 きぼう保育園

- 4月 入園式 お花見
- 6月 園外保育（2歳児は市電に乗って南富山駅へ）（朝菜町堀川公園）
- 7月 セタの集い 水遊び 保育参加（水遊び）
- 8月 小規模3園合同水遊び（わかばにこにこ園へ）
- 10月 2歳児遠足（城川原公園） 園外保育（四季防災館）ハロウィンパーティー
- 11月 親子遠足（市電で牛島公園） 小規模3園合同園外保育（奥田公園）
- 12月 クリスマス会
- 1月 新年お楽しみ会
- 2月 節分の集い 災害時引き渡し訓練 個別懇談会
- 3月 ひな祭りの集い、災害時総合訓練（ホクタテさんと合同で）
お別れ園外保育（お世話になった先生方に会いに行く旅）
お買い物に行こう！（2歳児）
お別れおやつバイキング おわかれ会（2歳児保護者招待）

◇子どもの人数◇

	0歳児 地域枠	0歳児 従業員枠	1歳児 地域枠	1歳児 従業員枠	2歳児 地域枠	2歳児 従業員枠	計	延長 短(前)	延長 短(後)	一時 保育
4月	0	0	3	2	4	1	10	0	0	4
5月	0	1	3	2	4	1	11	0		7
6月	0	1	3	2	4	1	11	2	1	4
7月	0	1	3	1	4	1	10	7	3	3
8月	0	2	3	1	4	1	11	8	0	2
9月	0	2	3	1	4	1	11	0	0	0
10月	0	2	3	1	4	1	11	0	0	0
11月	0	3	3	1	4	1	12	0	0	0
12月	0	4	3	1	4	1	13	4	3	0
1月	0	4	3	1	4	1	13	4	2	0
2月	0	4	3	1	4	1	13	4	8	0
3月	0	4	3	1	4	1	13	6	2	0
計	0	28	36	15	48	12	139	35	19	20

前年度 18 10 12 48 27 0 115 57
前年比 -18 18 24 -33 21 12 24 -37

ねらい	施策	到達点
1、質の高い保育の実現のために	◎安全、安心、居心地の良い空間を 新メンバー体制となり、子どもたちが一日も早く新しい保育士や環境に慣れ、引き続き安心できる園生活を送れるよう職員一同努力する。まずは、何事においても慌てず、ゆったりとした心構えで行動する。又、子どもの人権を守るために職員一人一人が言葉遣いや関わり方において今一度見直し、日々温かい保育が行えるよう話し合っていく。ワンフロアで異年齢生活をするので、安全かつ子どもの主体的活動を大切にできるような環境の工夫を心がけていきたい。	職員体制が変わり、子ども達が安心して過ごせるよう日々話し合いながら環境づくりに努めた。ワンフロアでの異年齢保育で、個性的な子どもが多く、遊び、睡眠、排泄などにおいて工夫と配慮が難しいと感じた。 保育参加の行事を取り入れることで、保育士と保護者の距離が縮まり、お互いに話をしやすくなったのを感じた。保護者からも楽しかったという感想を聞き、保護者が参加する行事や、保護者同士が話をする機会をもう少し増やしたいという思いもでてきた。
2、施設の役割・あり方	◎施設内外の方々に見守られながら さくらビルの1階にある保育園では、様々な職種の大人の方に出会う機会が多く、子どもたちは大変可愛がっていただいている。それだけ保育園が注目されているということ肝に銘じて、適宜に行動していきたい。又、様々な方に挨拶したりコミュニケーションをとったりすることを大切に、地域との協力体制がもてるよう行動していきたい。	子ども達が気分転換できる場所を常に探しながら工夫して楽しんできた。市役所前の池、NHK、松川べり、駅周辺、公園等。悪天候の日には安全なさくらビル内。エントランスやピロティを園庭の様にしてお過ごしても温かい目で見守って頂けたことに感謝。お祭りごっこやハロウィンなどの行事においても、ビル内の方々、近くのお店の方々の協力を得ながら笑顔で過ごすことができた。 一時保育は半日利用の利用者が数人あり、保育に無理のない程度に預かることができたが、後半は職員不足のためお断りしていた。
3、人材育成・研修	◎0, 1, 2歳児保育の楽しさを分かち合う 0, 1, 2歳児の成長は著しく、豊かな表現や発想、つぶやきはとても愛らしい。その姿を園全体で見守り、喜び合える雰囲気大切にしていきたい。よりよい保育を行うために職員間の意思疎通が大切なので、定期的な会議を行えるよう計画していく。パート職員が多く、午前と午後に分かれているため共通理解を図るための工夫が必要である。又、職員体制が厳しい中ではあるが研修の機会を逃さないように計画し、専門知識を深める努力をする。	小規模なのに個別に対応が必要な子どもの割合が多く、動きに戸惑う職員の姿があった。場面のとらえ方や方法は様々であるが、子どもの行動や反応に対応しきれず不安になる職員の姿があった。保育助手、臨時パートの割合が多く、度々話し合ったり、文献を読み合わせたりと、学びの機会をもつようになってきた。又、たわいもない会話も大切であり、普段から職員同士がコミュニケーションをとり、楽しく働くことも意識してきた。小規模園は大人も子どもも少人数のため働きやすい面もあるが、一人でもモチベーションが下がると場の空気は一変する。特に子どもは場の空気に敏感で、大人の顔をよく見るので気を付けるよう心掛けてきた。
4、働き方改革と処遇改善	◎様々な働き方と効率の良い仕事 様々な働き方を理解し、働きやすい環境を整えてく。事務時間を定期的にとれるよう工夫し、効率の良い仕事ができるように配慮する。又、年次有給休暇も計画的にとるようにする。さくらビル2階のワークブースを利用しノンコンタクトタイムを確保する。体制に困った時は、石金こども園と連携を図り、互いに補っていきたい。	病休職員がでたため職員不足が続き、福祉会職員の協力を得ながら年間乗り切ることができた。職員揃って打ち合わせをすることもままならない状況であったが、合間をみて工夫しながら事務仕事もこなしてきた。子ども達に元気をもらいながら行事や様々な活動を楽しむことができたのは、職員の理解と協力があつたからこそだと思っている。年次休暇においても他園の協力があり、順調に取ることができたので感謝している。 ワンフロアの保育園で息抜きをする場所がないところ、さくらビル内のワークブースを借りてのノンコンタクトタイムは、職員にとっては貴重なひと時である。
5、施設改修等	◎快適に過ごすために 問題のある個所等はホクタテビルメン事業部の方と相談し、解決策を考える。	地震の影響により、暖房器具が故障。壁の亀裂もあったが、全てさくらビルで修理完了した。

令和5年度 事業報告 わかばさくらんぼ園

- 4月 お花見散歩
- 5月 検尿検査・内科検診
- 6月 歯科検診・ファミリーデー・保育参加
- 7月 セタの集い・水遊び・個別懇談会
- 8月 合同水遊び（にこにこ園にて）・夏まつりごっこ
- 9月 運動会ごっこ
- 10月 歯科検診・内科検診・2歳児遠足（城川原降園）
ハロウィンパーティー
- 11月 勤労感謝ウィーク（消防署、給食室等に訪問）・園外保育（奥田公園）
- 12月 クリスマス会・災害時引き渡し訓練
- 1月 新年お楽しみ会・お店屋さんごっこ・個別懇談会
- 2月 節分の集い
- 3月 ひな祭り会・お別れ会・お別れ散歩（悪天候のため四季防災館までドライブ）

◇ 令和5年度 児童在籍の実績数 ◇

	0歳児	1歳児	2歳児	計	延長 保育	一時 保育
4月	1	4	4	9	12	0
5月	1	4	4	9	16	0
6月	1	4	4	9	14	1
7月	1	4	4	9	16	2
8月	1	4	4	9	13	0
9月	2	4	4	10	17	0
10月	2	4	4	10	18	0
11月	2	4	4	10	15	0
12月	2	4	4	10	14	0
1月	2	4	4	10	11	0
2月	2	4	4	10	13	0
3月	2	4	4	10	15	0
計	19	48	48	115	174	3
前年度	28	43	41	112	11	9
前年比	-9	5	7	3	163	-6

令和5年度 事業報告

わかば学童クラブ堀川園 A・B

◎基本方針に対する到達状況

たくさん遊んで！のびのび過ごして！日進月歩」

- | | | |
|----|-----------------------|----------------------|
| 1、 | ほっと安心できる学童 | ～「ただいま！」「おかえり！」を大切に～ |
| 2、 | 小学生の喜ぶ遊びの充実 | ～自分たちで作る楽しみを！～ |
| 3、 | 安全な環境づくり | ～室内外の環境の見直し・下校指導～ |
| 4、 | 個別に対応が必要な児童に対する適切な関わり | ～安心して過ごせる空間に～ |
| 5、 | 保護者が安心して就労できる学童 | ～何でも話し合える信頼関係を～ |



2 単位となり、新園舎での生活がスタートした。当初は 1, 2 階の使い方に試行錯誤しながら過ごしていたが、次第に空間を有効に活用できるようになり、生活や遊びを通して 1～6 年生が交流しながらドッジボール、バスケットなどの身体を動かす遊びや室内でルールのある遊びを存分に楽しむ姿が見られた。高学年が中心となり行事を企画したり、生活をしたりする中でのトラブルやルールなどは、その都度、子どもたちが話し合い一緒に考える時間を設けるようにしていった。

地域小学校や保護者の方とは密に連携をとり、保護者や担任同士の情報共有や共通理解を心がけることで、よりよい保育や保護者の方々との信頼関係を築くことができた。今後も地域の児童健全育成の為に取り組みを充実させていきたい。

◎事業報告

- 4 月 1 年生歓迎会、お花見、園外保育（富山市ファミリーパーク）
- 5 月 園外保育（太閤山ランド、こどもみらい館）
- 8 月 プールあそび、夏祭り、やまびこキャンプ（1泊2日）園外保育（ひらりんの森）
- 10 月 ハロウィンパーティー、園外保育（ミラージュランド、氷見いきいき元気館）
- 12 月 クリスマス会、大掃除
- 1 月 冬の遠足（立山青少年自然の家プチ運動会）
- 2 月 節分の集い、園外保育（富山市ファミリーパーク、こどもみらい館）
- 3 月 お別れ会

◎校下別利用人数

	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	合計
蜷川	28	19	16	13	3	2	81
その他	5	2	4	1	0	0	12
合計	33	21	20	14	3	2	93

◎利用状況

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
開設 日数	28	26	29	25	29	25	28	28	28	25	26	28	325
延べ 利用 人数	1,194	1,091	1,135	1,036	1,135	999	1,106	937	1,015	934	821	905	12,308
登録 人数	94	93	93	92	92	89	90	90	86	84	84	84	1,071

令和5年度 事業報告

わかば学童クラブはりはら園

基本方針に対する到達状況

『令和5年度 基本方針』

- 自分の家にいるようにくつろぎ、自分の素の姿が出せる『ひだまり』のような暖かい場所に。
- 友達との遊びを通して、楽しい経験、負けて悔しい経験、失敗してしまった経験全てが『学び』に繋がるように。
- 思いきり体を動かすことや興味関心を持ったことを体験することで、『遊びの場』や『友達の輪』が広がっていくように。



年度当初は新しい環境に期待を持ち、好きな遊びや友達と過ごすことを楽しむ子が多くいたが、中には友達の輪に入れず、不安そうにする子もいた。担任と信頼関係を築けるように、1対1の関わりを多く取るよう心がけていったことで、少しずつ環境にも慣れていき、気の合う友達と遊ぶようになっていった。

また複数の学校、違う学年、様々な性格の子がいる中で、2・3年生が中心になって遊びを展開していき、困ったり、元気がなかったりする子がいると、気にかけて声を掛ける姿が見られた。年齢関係なく、子ども達同士で助け合ったり、勉強を教えたりしていた。

年間を通して、自分のやりたい事や興味・関心のあることに触れられるようにしていった。晴れている日は進んで戸外にできるようにし、縄跳びやホッピング等で体を動かしたり、野球やドッチボール、鬼ごっこ等の集団遊びを楽しんだりした。時々トラブルになることもあったが、子ども達同士で話し合ったり、ルールを確認したりして問題を解決するように見守っていった。また雨天時はボードゲームやラキューなどをして遊べるようにした。廃材遊びが好きな子が多く、空き箱やはさみ、テープなどの子ども達が必要とする用具を準備することで、友達とイメージを広げながら制作し遊びに取り入れていた。またカプラやドミノなどでは友達同士で協力しながらひとつの大きな作品作りを楽しんでいた。

保護者対応では、お迎えの際に「おかえりなさい」と声を掛けて話しやすい雰囲気作りを心掛けた。子どもの様子を具体的に伝えたり、学校や家庭での様子を聞いたりしていくようにしたことによって信頼関係ができていった。子どもはもちろん、保護者にも寄り添える関係性が必要だと感じた。

- 4月 ジャがいも苗植え
- 5月 バーベキュー
- 8月 学童キャンプ スイカ割り ポテトチップス作り
- 10月 ハロウィンパーティ 富山市科学博物館(園外保育) 富山県美術館(園外保育)
- 11月 魚津水族館(園外保育)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
716	631	657	530	664	563	541	517	356	483	383	435	6,476

- 12月 クリスマス会
- 2月 節分のつどい・岩瀬スポーツ公園(園外保育)
- 3月 ひな祭り ・ お別れ会

平日利用小学校・・・ 針原、新庄北、広田、三成小学校
 長期のみ利用・・・ 奥田北、新庄、大広田 (令和6年度は、五福、牧野小学校予定)

◎利用状況(人数)

令和5年度 事業報告

わかば学童クラブ下堀園 A・B

◎基本方針に対する到達状況

～安心・安全な学童クラブを目指して～

- 1、 ほっと安心で楽しい学童 ～「ただいま!」「おかえり!」を大切に～
- 2、 小学生の喜ぶ遊びの充実 ～自分たちで作る楽しみを!～
- 3、 安全な環境づくり ～安全で過ごしやすい居場所に～ ～帰り道に気を付けて!～
- 4、 個別に対応が必要な児童に対する適切な関わり ～安心して過ごせる空間に～
- 5、 保護者が安心して就労できる学童 ～何でも話し合える信頼関係を～



高学年の受け入れが始まった令和4年度は、1・2年生と3年生以上とにクラスを分け、より一人ひとりの発達に応じた放課後保育を行うことができた。1・2年生（チーム★スマイル）は穏やかであたたかな居場所としての機能を大切に、3・4年生（チーム★チャレンジ）は学童期の生活体験の幅を広げる活動に主眼をおいてそれぞれ充実した保育を実施することができた。また秋には近隣の商店や事業所を訪問してハロウィンの仮装行列を行い、地域の方のあたたかい歓迎を受け、職員ともども大きな感動を得ることができた。下堀こども園の2階で行った作品展では、絵画や工作のほか創作した詩や短歌、秘密基地の展示を行い、学童で過ごす子どもの姿を保護者に紹介する機会となった。ミニ運動会や学童まつりでは学童卒園生の招待も行い、子どもの居場所として学童クラブが地域に貢献できることを再発見する1年間となった。

◎事業報告

- 4月 交通安全指導、3・4年生園外保育（中央植物園）、クラブ活動開始（月1回）
- 5月 春の遠足（魚津水族館、ホタルイカミュージアム）
- 6月 保健指導（熱中症）、野菜の苗植え
- 7月 1・2年生園外保育（とやま健康パークじゃぶじゃぶ池）、水遊び
- 8月 やまびこキャンプ（1泊2日 立山青少年自然の家）、3・4年生海水浴、サマーパーティー、夜の肝試し、夏まつり、水遊び、買い物おやつ
- 9月 土曜ドキドキ教室「心臓外科医のシゴト」（スミセイアフタースクールプロジェクト事業）
- 10月 秋の遠足（太閤山ランド）、ミニ運動会（卒園生招待）
ハロウィン仮装行列（他学童や放課後デイ、近隣商店など）ハロウィンお店屋さんごっこ
- 11月 作品展、買い物おやつ
- 12月 クリスマス会、雪遊び遠足（立山青少年自然の家）
- 1月 DWAT 報告会
- 2月 節分、保健指導（手洗い）、
3・4年生電車遠足（中央児童館、ゴールデンボウル）
- 3月 ひなまつり、しもほり学童まつり、お別れ会

登録人数 ; 令和5年4月現在 ※（ ）内は年度末人数

	1年生	2年生	3年生	4年生	合計
4月1日	28 (28)	15 (15)	16 (13)	11 (11)	70 (67)

利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開設 日数	24	24	26	25	26	23	25	24	23	23	23	25	292
延べ 利用 人数	907	945	993	992	944	877	916	807	858	815	678	862	10,594
登録 人数	73	75	73	75	75	73	72	69	68	67	67	67	854

令和5年度 事業報告

わかば子育て支援センター

(1) 子育て親子の交流の場の提供

- ・ 利用者が安心して子どもを遊ばせることができる清潔で安全な環境。
- ・ ほっとできる雰囲気作り（適温の室内、床暖、生き物の観察コーナー※ザリガニ、イモリ）
- ・ 子ども達が来館を喜ぶような企画実施
- ※ 例…サマーDAY企画（屋上で水遊び、金魚すくい、魚釣りコーナーなど）
からだを動かして遊ぼう企画（おひさま広場開放、蛇腹トンネル、お山を渡ろうなど）
おいしいものみ〜つけた企画（ミカン狩り、さつまいも引っ張りっこ、バーベQコーナーなど）
- ・ 年齢や発達、興味に応じた環境（遊具）の設定 ・ 身近な材料を使用した手作り玩具の提案・設置
- ・ 子育てに関する相談 ・ 子育て情報や周辺地域などの暮らしに役立つ情報の提供
- ・ 親子サークル5回 ばななサークル（あんよができるお友達） 2部制
いちごサークル（はいはいができるお友達）2部制
ももサークル（ねんねのお友達） 1部制
- ・ マタニティーサークル 月1回 ・ 身体計測、発育相談【3日間実施】

(2) 子育て等に関する相談、援助の実施

食事

離乳食を食べるタイミングが難しい。離乳食の進め方。量、形態、味について。偏食が激しい。つかみ食べししない。食べる量が少なく、ミルクで補っているがいつまで続けてよいか。魚や野菜を嫌がり食べないなど。

睡眠

寝るタイミングがずれて、毎日リズムがつかみにくい。夜泣きがひどい。子どもが朝明け方早くに起きてしまうので困る。昼寝の寝かし付け方。夜寝る時に入眠するまで泣き続ける。

発育・発達

お座りがまだ安定しない。首の座りが遅いような気がする。体重が増えない。歯並びについて（乳歯の間が離れているが大丈夫か）まだ1本も歯が生えてこない。喃語ばかりで言葉が出てこないなど。

排泄 トイレトレーニングについて。夜間のおしこの量が少ないがミルクが足りていないのだろうかなど。

性格・癖

父母や親戚の胸を触りたがる。人見知りがひどく、園に馴染めるか心配。視界に入ってきたものに即座に反応して飛びつく、制止できないなど。

育児不安

2人子育ての不安。食にあまり興味が無い息子にどうしたらよいか。叱っても噛みついてきたり、笑って繰り返したりする。他児ができていることを我が子ができていないと不安になり落ちこむ。

【電話相談】転居先で話し相手がいなくて、子どもの保育園問題や新生活の不安からストレスが溜まっている

【電話相談】自慰行為について など。

しつけ

歩道を散歩したいが手を繋いでくれない。左利きになっていってしまいそう。両方使わせていきたいときの関わり方など。

育児方法

夏に弁当を持参して外出したいが、外で食べる上で注意点は何か。赤ちゃんの水遊びはどのようにさせたらよいか。暑い日の散歩について。家庭内でどうやって遊ばせたらよいか。イヤイヤ期の関わり方。歯みがきについて。

【電話相談】家庭内での安全対策の仕方。など。

兄弟関係

兄弟げんかの仲介のタイミング。姉妹関係がうまくいかない。など。

友達関係

上の子の友達作りや園の生活について。上の子と友達の関係について。他の支援センターでの他児との関わりやセンター職員の対応について。近所の子との関係について。上の子の性格&友達関係について。など。

病気・予防接種

子どもがバネ指と診断され、どう関わればよいか。1歳半健診ではどんなことをするのか。よい皮膚科を教えてほしい。睾丸の異常が見つかり、手術にならないか不安。など。

入園・入所・一時預かり

入園のタイミング（いつ。どのタイミングだと入りやすいのか）。保育園選びポイント。一時保育について。富山市の入園状況について。など。

保育園・幼稚園

園での担任の言葉がけに我が子が傷ついた様子。友だちとのトラブルがあってから園に着くと泣いて拒み、休ませている。慣らし保育の間の担任はどのように対応されるのか。【電話相談】転所についてなど。

虐待

近隣に心配な家庭がある。など。

その他

親子サークルについて。富山のことをいろいろ教えてほしい。夏場に連れていける水辺のある公園や涼しい施設。富山市内の身近な遊び場を知りたい。など

(3) 地域の子育て関連情報の提供

- ・ わかば子育て支援センターの行事予定表の提供（ホームページ、保育園舎外の掲示板掲示、施設内掲示、チラシ）
- ・ 近隣のお店情報
- ・ イベントのチラシ、ハッピーママ無料配布分、その他子育て情報機関発行のチラシ配布
- ・ 地域で活動中の親子サークル「かがやきキッズ」「ハッピーキッズ」の案内掲示
- ・ 富山市の子育て支援情報提供（病児保育、子育て支援センター、ファミリーサポートセンター、ウィルカムベビーおむつ事業、イベント情報他）
- ・ わかば福祉会下堀こども園の一時保育情報
- ・ わかば子育て情報支援センターの登録者への感染症情報（毎週水曜日）、不審者情報、毎月のイベント情報、子育て支援情報などの情報メール配信

(4) 子育て支援に関する講習等の実施

子育て講座

★今年度特に力を入れて開催した『離乳食講座&離乳食試食会』

講師：わかば保育園 管理栄養士、調理師 開催月：5月、7月、9月、11月、1月、2月

その他の講座

- ・ 6月『歯のはなし』講師：歯科衛生士 山田尚代さん
- ・ 8月『ハーバリウム作り体験』森先生
- ・ 10月、3月『親子でできる簡単エクササイズ』講師：江崎磨智子ダンスカンパニー副主宰江崎雅子先生
- ・ 12月『作ってあそぼう』支援センター職員 朝日、伊藤

(5) その他地域支援活動の積極的な実施

- ・ 9月に堀川南校区自主サークル「かがやきキッズ」から1回の依頼を受け、実施。
- ・ わかばさくらんぼ園より保育の出前として依頼を受け、1月に実施。

6 添付書類（補足資料があれば添付のこと。 例：活動の様子がわかる写真、パンフレット、広報等）



子育て講座『離乳食講座&試食会』の様子



すくすくタイム（戸外活動）の様子…
ベビーカーチームで電車方面にお散歩



子育て講座『歯のおはなし』の様子

令和５年度 事業実績数

わかば子育て支援センター

	利用者総数	講座・セミナー 参加者	その他の行事	相談件数	保育の出前	出前参加人数
４月	431	0	96	34	0	0
５月	372	6	79	29	0	0
６月	518	10	86	29	0	0
７月	504	6	99	28	0	0
８月	355	10	30	28	0	0
９月	463	11	94	45	1	26
１０月	502	10	104	39	0	0
１１月	501	4	93	24	0	0
１２月	428	7	90	33	0	0
１月	555	10	111	39	1	12
２月	517	2	84	37	0	0
３月	606	18	103	41	0	0
計	5,752	94	1,069	406	2	38

前年度 5,586 54 1,012 354 3 84

比 166 40 57 52 -1 -46